

社会資源の増大化を目指す
ソーシャル・マーケティングの提案

50-60代女性が日本の核となる
彼女たちの意識と生活行動が市場を先導していく

ソーシャルマーケティング・プロデューサー

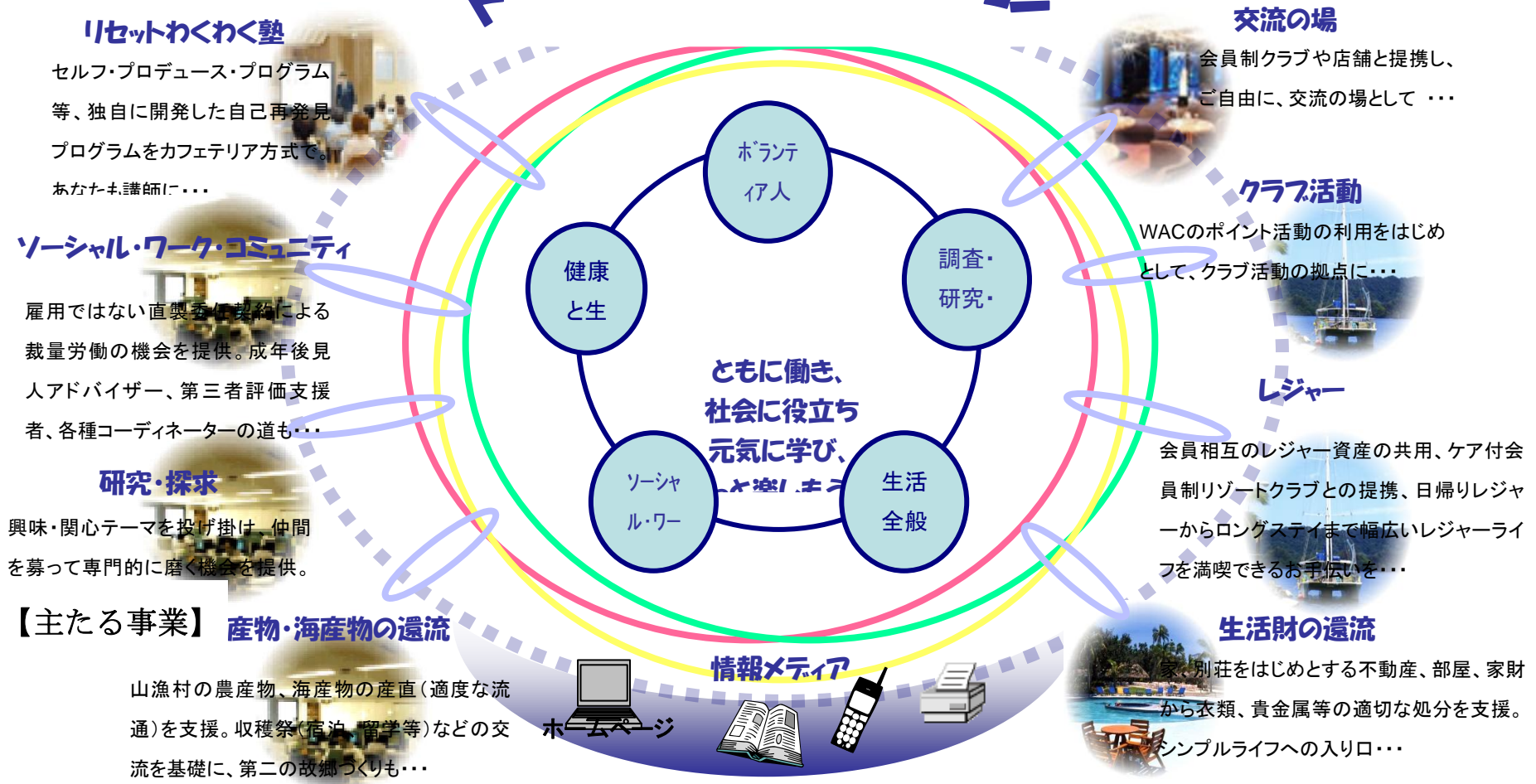
澤登 信子

【個人資源&社会資源の増大化】

培われた多様な個人資源と社会資源を増大化させる

知の輪 **人の輪** **財(たから)の輪** を融合させ、還流させ、各自が各様に自己実現

トータル・ライフ・クリエーション



リセットわくわく塾

セルフ・プロデュース・プログラム等、独自に開発した自己再発見プログラムをカフェテリア方式で。あなたも講師に...

交流の場

会員制クラブや店舗と提携し、ご自由に、交流の場として...

クラブ活動

WACのポイント活動の利用をはじめとして、クラブ活動の拠点に...

レジャー

会員相互のレジャー資産の共用、ケア付会員制リゾートクラブとの提携、日帰りレジャーからロングステイまで幅広いレジャーライフを満喫できるお手伝いを...

生活財の還流

家、別荘をはじめとする不動産、部屋、家財から衣類、貴金属等の適切な処分を支援。サンプルライフへの入り口...

ソーシャル・ワーク・コミュニティ

雇用ではない直製委任契約による裁量労働の機会を提供。成年後見人アドバイザー、第三者評価支援者、各種コーディネーターの道も...

研究・探求

興味・関心テーマを投げ掛け、仲間を募って専門的に磨く機会を提供。

【主たる事業】 産物・海産物の還流

山漁村の農産物、海産物の産直(適度な流通)を支援。収穫祭(宿泊、留学等)などの交流を基礎に、第二の故郷づくりも...

情報メディア

ホームページ



【新たなるマーケットが出現】

ネクストステージを創造していくコレカラ世代(50-60代)に注目！

- ・ 人生 90 年時代を迎え、私たちの生き方・暮らし方が多様化し、とりわけ、30 年以上続く子離れ後や退職後は個人生活を重んじながら、価値観や生活環境によりライフスタイルは様々
- ・ この期間が今日、充実した時間をかさねていきたいと、誰しも望みますが、自らシナリオを描き演じなければならず、未曾有の世界に臨むことであり、なかなか難しいこと
- ・ 生き方が問われ、多くの中高齢期の人々の関心事は、生活の基盤となる“お金”“健康”“時間”“仲間”“社会参加”
- ・ お役に立って、評価され、喜びを感じ、少しのお小遣いが得られれば・・・と、仕事づくりに関心
- ・ そのための学習の場や情報、仲間を求め、いかにしたら、不安を安心に換えられるのか立ちすくんでいる
- ・ とりわけ、これらの世代の女性たちは主体的に人生を選んだ第一世代として、新しい生き方を切り拓いてきた反面、祖母や母たちが面々と営み続け、手渡してくれた日本の風土に根ざした生活文化を、次世代に継承しきれていないとに反省
- ・ このことは、中高齢女性の社会参加領域としてもふさわしく、その役割をどのように果たしていけばよいかを模索
- ・ サービス提供者である企業にとって新規市場として魅力的
- ・ 年金生活でつつましやかな老後をおくる人から、自由に使えるお金を所有している層まで、様々であり、従来の企業のマスマーケットの視点ではきめ細かな実態の把握が難しい世代
- ・ 利用者のオピニオンリーダーとの連携や協働により新市場を形成する、新しいスタイルが有効

【新たなる関係】

購入者である生活者が求める暮らしをバックヤードでサポートする提供者

新たなる市場は閉鎖系から開放系へ、深く大きくスパイラルに繋がりながら進化し続ける

1 人材育成・交流事業

成果：顧客の囲い込み

骨子：ライフデザインの啓発・体験・支援

場の開発 学習・遊び・旅・・・・・・・・仲間づくり

小さな仕事・個人事業のサポート

個別相談：ワンストップサービス

2 ネットワーク事業

安心、安全、健やかな生活を支援する包括的「支え合い」ネットワーク

サロン等の情報拠点：センター機能&各種サロン

3 応援事業

一人ひとりの身分証明&多様な自分らしさを応援するツール

個人の生活応援(福利厚生)「ライフパスポート」の発行

ネットワークのツールとなり企業資源(事業)&社会資源の活用方増大化へ

4 還元&還流事業

ストックのフロー化

[事例 社会貢献銀行] ※ 別紙

社会貢献銀行

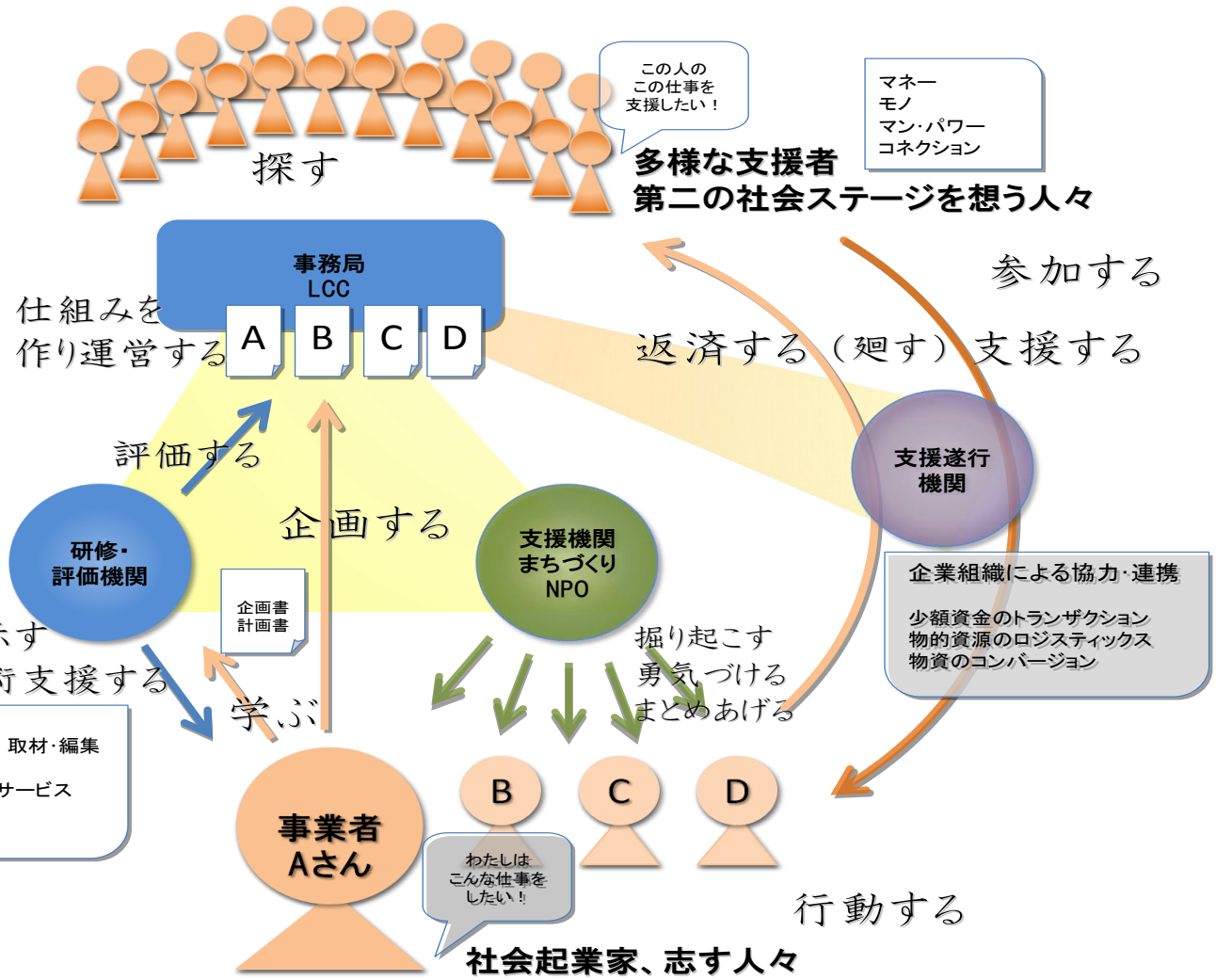
マッチングセンターの仕組み

事業企画書
(パーソナル・ヒストリーを通じて、以下のことを明確にする)

- 事業の目的と概要
- 必要資金
(目的・期間・返済計画)

(評価機関による)

- コメント
- リスク評価



【地域コミュニティの再生】

高齢者の捉え方と生活支援の基本的な考え方



しかし……

人間には本来、年齢・年代にかかわらず

- 承認欲求……誰かに認められたい
- 参加欲求……何かの役に立ちたい
- つながり欲求……誰かとつながっていたい

といった「根源的欲求」があるのでは。

とすれば

- 高齢者は何をしががっているのか
 - ⇒ 「何をしてもらいたいのか」より「何がしたいのか」を大切に、高齢者の気持ちによりそくと、見えてくるもの
- 支えあう関係づくりとは
 - ⇒ 「サービスをしてあげる」から、「ともに参加するサービス」のあり方を考える
- 日常の暮らしとつながる地域づくり
 - ⇒ 身構えた「地域参加」ではなく、暮らしのほんのちよとした延長で、気軽につきあえる「地域」にするために必要なこと

高齢者・プレ高齢者をはじめ多世代に関わる
新たな生活支援サービス

人は誰でも、「唯一の根源的欲求」からあらゆる行動をする、といわれている。唯一の根源的欲求とは、「自分の存在が他者から理解され、認められ、受け入れられ、できれば高く評価され、大切にされたい」と同時に、自分自身もまた、自分がよい人間だと思えるような、他の人に役立つ存在でありたいという希求」だ。

鈴木秀子『愛と癒しのコミュニオン』より

<参考>

『住民参加型在宅福祉サービス』パンフレットより

- ・制度にとらわれない、地域でのあたりまえの暮らしを支える”よろずなんでも活動”
- ・“助けたり、助けられたり”の支えあいの活動
- ・「ここでずっと暮らしたい！」と思えるまちづくりをめざす活動

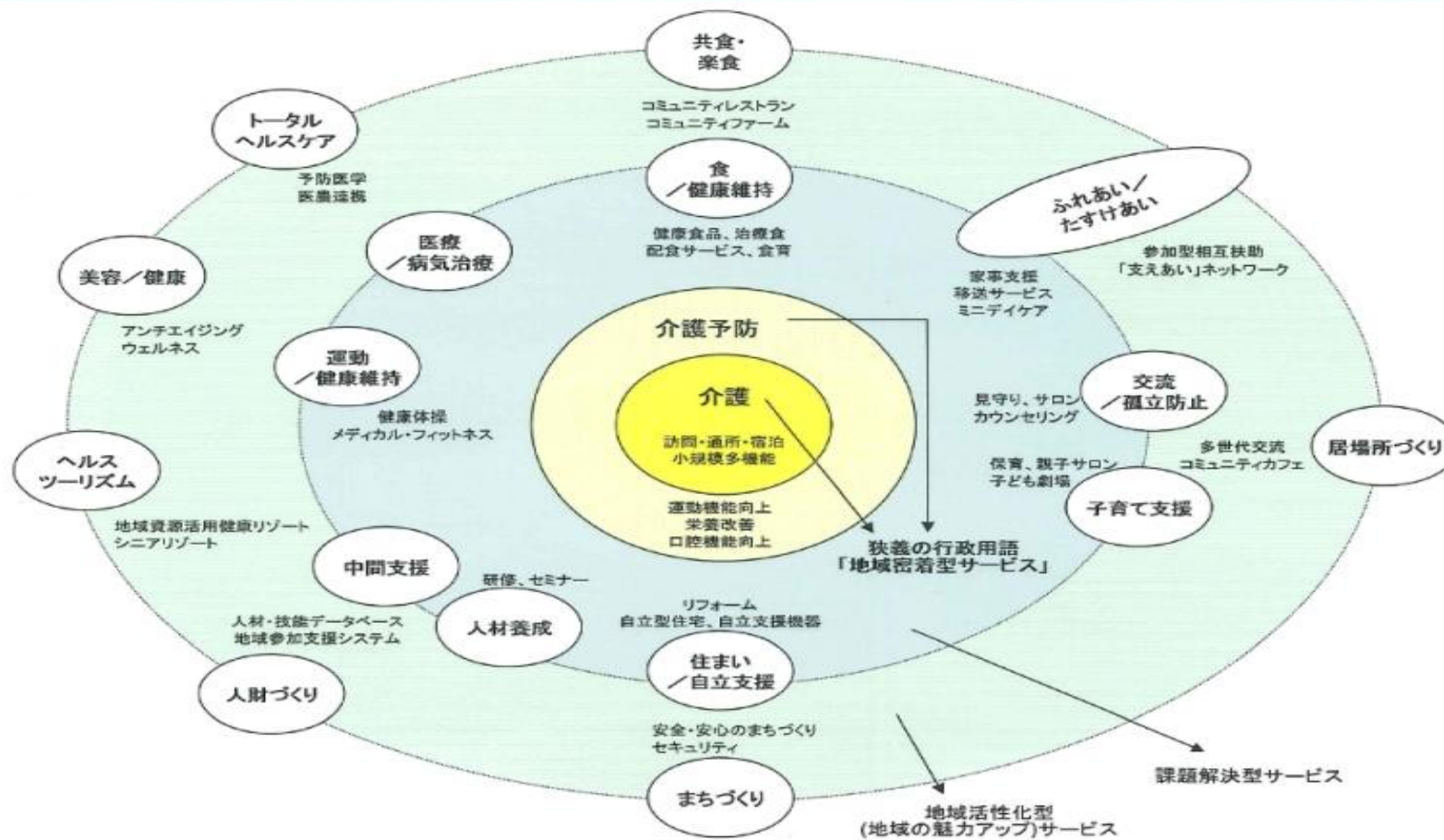
<参考>

『平成18年度版厚生労働白書』が示す、新しい「支え合いの循環」

- ・「高齢者は支えられる人」の固定観念を捨て、「高齢者も職場や地域に参加して支える人になる」意識改革が必要と強調。
- ・「皆で支え合う」ための社会基盤として「家族」「職場」「地域」の連携による「新しい支え合いの循環」を提言。
- ・さらに、団塊世代、子育て世代、若者、地方都市、過疎地域、のそれぞれについて、支え合いの具体的なイメージを描いている。

【コレカラの「生活支援サービス」のイメージマップ】

これからの「生活支援サービス」のイメージマップ



出典 社団法人 長寿社会文化協会地域密着型サービス基礎調査

